

トリプルエー

AAA（アクティブ・エイジレス・アドバンスト）シティ岡山

～岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区～



伝説の岡山市



岡山市保健福祉局 医療政策推進課

○岡山市は平成25年2月に総合特区として国の指定

○コンセプトは、『高齢者が介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会の構築』

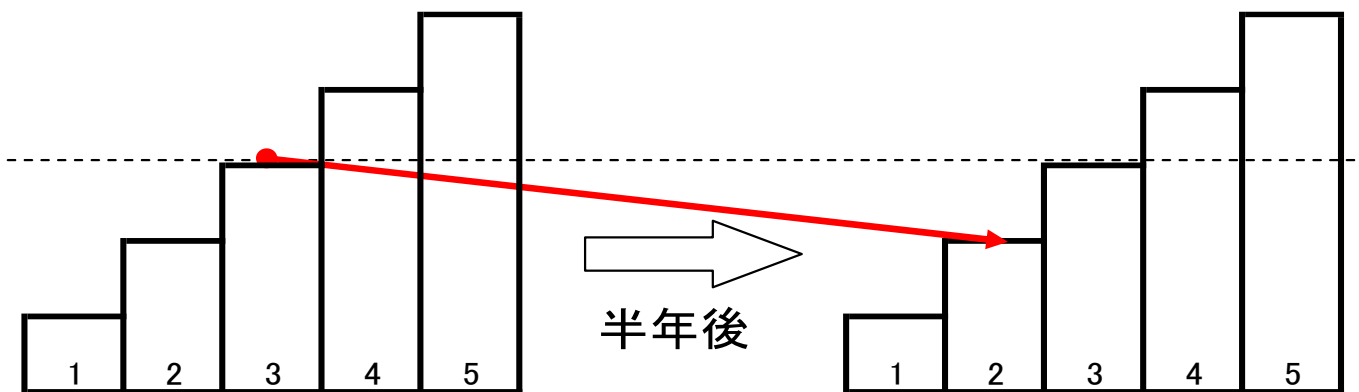
○在宅に特化した規制緩和等を求める11項目を提案

要介護度の改善に強いインセンティブを与える仕組みの創設(＝インセンティブ制度)

従来の介護保険制度



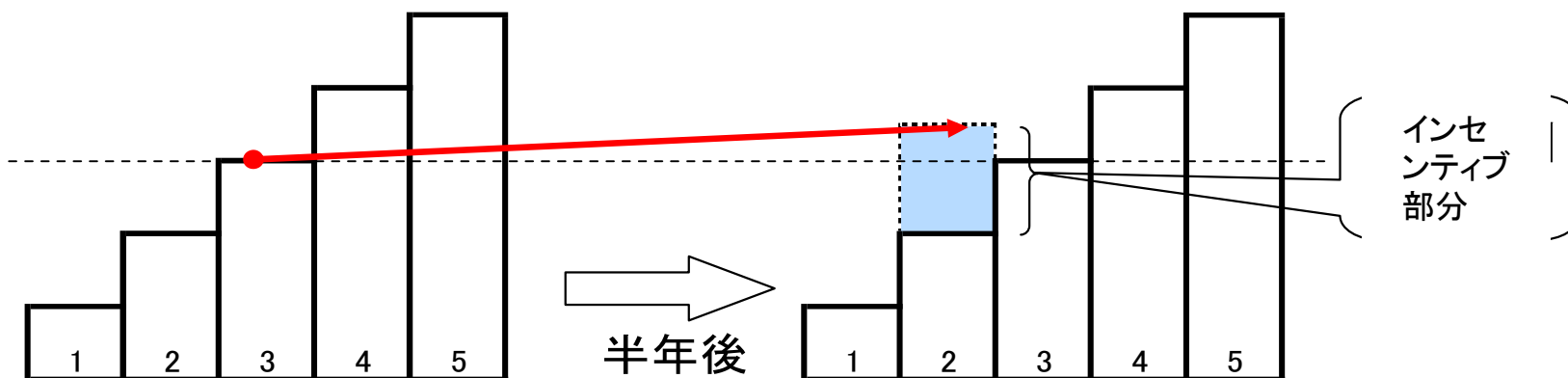
要介護度を改善させると、報酬が減る仕組み



インセンティブ制度

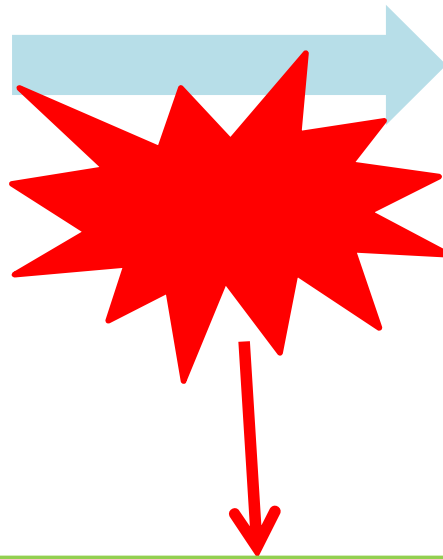


要介護度を改善させるほど、報酬が増える仕組み



アウトカム 評価

要介護度の維持・
改善度評価する。



インセン ティブ付与

奨励金

<厚労省・有識者の意見>

- ・介護報酬は介護保険制度の根幹に関わるものであり、慎重な議論のもと全国一律で決定されるべきもので、特区といえども、介護報酬の特例として実施することは困難
- ・通所介護サービスのアウトカム指標これまで確立されておらず、慎重な議論が必要
- ・要介護度を指標すると、事業所による利用者選別が起きる（いいとこ取り）
- ・通所介護サービスの質を評価する場合、アウトカムだけに着目するのではなく、プロセス、ストラクチャーも評価することが重要

厚生労働省の補助金を活用し、通所介護サービスの質を評価する指標の調査研究を実施。

デイサービス改善インセンティブ事業

- 通所介護サービスの質を評価し、積極的に利用者の状態像の維持・改善を図る事業所へインセンティブを付与
- 評価に使う「ものさし」は岡山市と市内デイサービスで共同して選定
- 取組み結果は情報公開を行い、質の高い取組みの普及を図る



これまで確立されていないデイサービスの評価指標を岡山市が全国に先駆けて確立し、介護報酬の議論につなげる。

平成26年度 デイサービス改善インセンティブ事業

H26.6

参加事業所
への確認

市内デイサービス事業所に対し、事業への参加の有無を調査
(任意参加)

評価対象事業所
151／約290
事業所

評価指標のデータの
収集

○平成26年6月調査実施
(平成25年1～12月データ)

○平成27年1月調査実施
(平成26年1～12月データ)

H27.2

指標による評価

調査結果から、5つの評価
指標のベンチマークの達成
の可否状況で評価する

評価対象事業所のうち3つ以上
の指標のベンチマークを達成
＝ 指標達成事業所

H27.3

インセンティブ
付与

指標達成事業所の
公表

指標達成事業所
60事業所

	評価指標	ベンチマーク
1	外部研修への参加状況 (延べ人数／職員数(常勤換算人数))	評価対象事業所の平均値以上
2	岡山市主催の研修会の参加回数	3回とも1人以上参加
3	認知症高齢者の受け入れ人数 (実人数／利用定員)	評価対象事業所の平均値以上
4	機能訓練指導員の常勤換算人数 (常勤換算人数／職員数(常勤換算人数))	評価対象事業所の平均値以上
5	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 (常勤換算人数／職員数(常勤換算人数))	評価対象事業所の平均値以上

平成27年度デイサービス改善インセンティブ事業スキーム

H27.6

参加事業所
への確認

H28.2

指標による評価

H28.3

アウトカム評価

H28.3

インセンティブ
付与

参加要件(必須)

①評価指標のデータ(調査票)を提出すること(2回分)

現時点の参加意向
事業所・・・148ヶ所
(H27.8.19時点)

- 評価指標のデータ収集
- 調査結果から、評価指標のベンチマークの達成の可否状況で評価する

指標達成事業所のうち、日常生活機能評価の維持・改善度で評価

アウトカム評価
上位事業所

・奨励金

・指標達成事業所の公表

	評価指標
1	外部研修への参加状況
2	岡山市主催の研修会の参加回数
3	認知症高齢者の受け入れ人数
4	機能訓練指導員の常勤換算人数
5	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数

②日常生活機能評価を継続的に実施すること。

H27.9

日常生活
機能評価

H28.2

日常生活
機能評価

No	評価項目	選択肢(配点)		
		0点	1点	2点
1	安静の判断	なし	あり	
2	どちらかの手を胸元まで持ち上げられる	できる	できない	
3	寝返り	できる	つかまる物が必要	できない
4	起き上がり	できる	できない	
5	座位保持	できる	支えが必要	できない
6	移乗	介助なし	一部介助	全介助
7	移動方法	介助なし	介助が必要	
8	口腔清潔	介助なし	介助が必要	
9	食事摂取	介助なし	一部介助	全介助
10	衣服の着脱	介助なし	一部介助	全介助
11	他者への意思の伝達	できる	できない時がある	できない
12	介助の指示が通じる	はい	いいえ	
13	自傷行動	なし	あり	

19点満点で合計点が低いほど、介助を要しない(=元気)。

H27年度 評価指標

	評価指標	考え方
1	外部研修への参加状況 (延べ人数／職員数(常勤換算人数))	外部研修の参加人数 ・キャリア段位講習 ・認知症総合アセスメント(DASC)研修 ・認知症介護指導者養成研修、認知症介護実践リーダー研修、 認知症介護実践者研修
2	岡山市主催の研修会の参加回数	岡山市が主催した介護職員スキルアップ研修に参加した回数
3	認知症高齢者の受け入れ人数 (実人数／利用定員)	「日常生活自立度Ⅲ以上の利用者」の人数
4	機能訓練指導員の常勤換算人数 (常勤換算人数／職員数(常勤換算人数))	機能訓練指導員の常勤換算人数 (勤務形態一覧表から算出)
5	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 (常勤換算人数／職員数(常勤換算人数))	介護職員のうち、介護福祉士の常勤換算人数 (勤務形態一覧表から算出)

H27年度 評価指標検討項目(H28年度の評価指標としてアンケート形式で現状把握)

	項目	考え方
1	医療機関との連携状況	デイサービスと医療機関がどの程度連携しているのか、どのような連携を行っているのかを把握するもの。
2	地域連携拠点として多職種連携会議への参加状況	<p>デイサービスが岡山市が開催している在宅医療・介護連携意見交換会(別添③ー6参照)にどの程度参加しているのか把握するもの。</p> <p>※今年度より、多職種連携会議が開催される場合には案内を市内全事業所FAXします。</p>